
市内大学での選挙啓発の取組

市内大学の生徒の方に対して、市内大学、三重県選挙管理委員会と連携し、以下の取組を実施しています。

市内大学との協定締結

投票率が低い現状にある大学生に対し、大学で学ぶ若者の主権者意識の醸成及び投票参加の促進を図ることを目的とし、効果的な選挙啓発に取り組むため、選挙啓発の連携協力に関する協定を市内大学、三重県選挙管理委員会と当委員会の三者により締結しています。

- ・鈴鹿医療科学大学との三者協定：令和元年 11 月 19 日締結
- ・鈴鹿大学との三者協定：令和6年 3月 27 日締結

青年選挙講座（グリーン・エイジ・ミーティング）

【実施主体】 三重県選挙管理委員会

青年選挙講座は、若年層に対し、社会の一員としての自覚や政治や選挙への関心を高めるため、昭和 50 年代から実施されています。

講座では、18 歳に選挙権年齢が引き下げられた意義について再認識してもらうとともに、不在者投票制度の活用等についての説明や、学生からも若者が投票に参加するための方策について意見交換等が行われています。

<令和6年度>

- ・鈴鹿大学で青年選挙講座を開催

【日時】 令和 6 年 12 月 20 日（金）

【対象】 鈴鹿大学の在校生

【内容】 三重県選挙管理委員会による「選挙制度や投票等に関する講義」のほか、選挙運動や投票に関する選挙クイズを行い、講義後、模擬投票を行い、実際の選挙の投票の流れを体験していただきました。

<令和5年度>

- ・鈴鹿大学で青年選挙講座を開催

【日時】 令和 5 年 10 月 24 日（火）

【対象】 鈴鹿大学の在校生

【内容】 三重県選挙管理委員会による「政治の役割・選挙(投票)に行く意義・選挙運動とは・法律違反とならないために・投票の方法」の講義後、架空都市の市長選挙の模擬投票の動画を視聴し、投票事務の役割や流れ（名簿対象係 ⇒ 投票用紙交付係

⇒ 記載 ⇒ 空票確認 ⇒ 投票)の説明を受けたのちに、実際に模擬投票が行われました。

そして、開票集計中には、選挙クイズとアンケート記入が実施されました。

＜令和元年度＞

・鈴鹿医療科学大学で青年選挙講座を開催

【日時】 令和元年 12 月 5 日(木)

【対象】 県内の大学生を対象にし、鈴鹿医療科学大学・三重大学・四日市大学から約 230 人が参加

【内容】 高校教諭で総務省主権者教育アドバイザーを務める黒崎洋介先生が講師に招かれ、投票に行ったことがあるかや行かない理由などを学生のスマートフォンのアプリを使ってアンケートを取り、瞬時に集計された結果をモニターで見ながら、生活と選挙の関連性を様々な角度から解説されました。

新入生オリエンテーションでの選挙啓発の取組

三重県選挙管理委員会と連携し、市内大学での新入生オリエンテーション開催時に、選挙に関する講義の実施や選挙啓発チラシ、啓発物品の配布を行い、若者の政治への参加意識と投票率の向上を図っています。

投票立会人(学生アルバイト)の募集

鈴鹿市選挙管理委員会では、大学生の選挙に対する意識向上と参加を目的に、鈴鹿医療科学大学・鈴鹿大学との連携協定に基づき、両大学の在学生を対象に、実際の選挙における期日前投票所の投票立会人について、登録制のアルバイトを募集しています。

＜令和6年度＞

・年間を通して8名の方の登録があり、令和6年 10 月 27 日執行の第 50 回衆議院議員総選挙では、4名の方に投票立会人として従事いただきました。